



平成20年10月16日

各位

会社名 株式会社ティラド
代表者名 代表取締役社長 嘉納 裕躬
(コード番号7236 東証第1部)
問合せ先 常務取締役 清水 国男
(TEL 03-3373-1101)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月14日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせします。

記

1. 21年3月期中間期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月14日発表)	57,000	2,000	2,150	1,160
今回修正予想(B)	55,497	1,245	1,647	410
増減額(B-A)	△1,503	△755	△503	△750
増減率	△2.6	△37.8	△23.4	△64.7
前期(平成20年3月期中間)実績	55,623	2,026	2,460	2,264

(参考)1株当たり予想中間純利益 5円63銭

2. 21年3月期中間期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月14日発表)	40,200	1,650	1,850	1,080
今回修正予想(B)	39,014	412	726	△169
増減額(B-A)	△1,186	△1,238	△1,124	△1,249
増減率	△3.0	△75.0	△60.8	△115.6
前期(平成20年3月期中間)実績	38,084	1,110	1,434	131

(参考)1株当たり予想中間純利益 -円-銭

3. 21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月14日発表)	113,000	4,200	4,520	2,600
今回修正予想(B)	105,000	2,100	2,800	750
増減額(B-A)	△ 8,000	△ 2,100	△ 1,720	△ 1,850
増減率	△ 7.1	△ 50.0	△ 38.1	△ 71.2
前期(平成20年3月期)実績	110,737	3,696	4,013	2,882

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 10円30銭

4. 21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成20年5月14日発表)	81,600	3,300	3,700	2,100
今回修正予想(B)	79,000	1,100	1,650	20
増減額(B-A)	△ 2,600	△ 2,200	△ 2,050	△ 2,085
増減率	△ 3.2	△ 66.7	△ 55.4	△ 99.0
前期(平成20年3月期)実績	80,465	2,775	3,289	1,182

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 0円27銭

5. 理由

(中間期)

売上高につきましては、単体において、自動車用・建設産業機械用の売上が前回予想を下回りました。海外においては、景気後退に伴う減産の影響もあり、若干の減少となり、売上高は、連結・単体ともに、前回予想を下回る見込です。単体利益につきましては、売上減少による影響の他、今期より棚卸資産の評価について、国内で低価格が適用された影響、原油高による運転経費の増加、人件費・研究費の増加などにより、営業利益・経常利益は、減少する見込です。連結利益につきましては、タイ・中国のアジア子会社は、販売好調により予測を上回りましたが、単体の利益減少の影響が大きく、営業利益・経常利益とも減少する見込です。営業利益・経常利益の減少に加えて、投資有価証券評価損が569百万円発生しておりますので、中間純利益については、連結・単体ともに、前回予想比で大幅に減少する見込です。

(通期)

売上高につきましては、中間期に引き続き、自動車用・建設産業機械用を中心に、厳しい状況となる見込みで、連結売上は、当初予想を80億円下回る1050億円となる見込です。単体利益につきましては、下半期においても、売上が減少する見込であることに加え、人件費・研究費の増加もあり、通期の営業利益・経常利益・当期純利益ともに予想を下回る見込です。海外子会社につきましては、景気減速による売上の減少はありますが、子会社全体では、前回予測の利益は確保できる見込であります。しかし、通期においても、単体の利益減少の影響が大きく、連結ベースの営業利益・経常利益・当期純利益ともに予想を下回る見込です。

なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により上記の予想と異なる場合があります。

以上